

舟車輪

平成20年 7月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

http://www.kaiwomaru.jp

第113号

着任のご挨拶



業務技師 中村憲二

3月に航海訓練所を定年退職し、4月から海王丸でお世話になっている中村です。

オリーブの小豆島に生まれて、小中学校を島で過ごし、1年間岡山の海校へ行きました。卒業後、右も左も分からないまま現在横浜に係留中の日本丸に甲板員として

採用され、海王丸を含め各練習船に乗船してきました。

ボランティアの皆様と仲良く、この海王丸が長生きできるようにがんばりたいと思います。

優秀な先輩方や、航海訓練所で一緒に生活をともししてきた、気心知れた仲間たちもいることなので、力を合わせて海王丸が一般市民の人たちの目に輝いてうつるようがんばっていきたくて考えております。

至らない私ですが、今後ともよろしくお願ひします。

6月の行事結果

総帆展帆

6月8日(日)は、東よりの風で綺麗に風をはらんだセイルを披露できました。

ボランティアの皆さんは、昼休みにカッター訓練やロバンド編みなどを楽しみました。

反省会で、海の日に行われるボランティア表彰の受賞者の発表をすると、大きな拍手がわき起こりました。

天候曇 参加人数 70名
展帆状態 総帆
スターボート・タック スクエアーズ



7・8・9月の行事予定

平成20年度ボランティア表彰式

日時：平成20年7月21日(祝)
12:00~

場所：シェルステージ
(雨天時は海王丸第一教室)

栄えある受賞者は、次の方々です。

「海王シルバー賞」受賞者(2名)

展帆ボランティア(150回以上)

荒木 孝文さん 156回

甲板ボランティア(750時間以上)

長久 昇さん 927時間

「海王賞」受賞者(6名)

展帆ボランティア(100回以上)

牧野 佳子さん 106回

牧野 実さん 103回

原井 節子さん 100回

中島 紀明さん 100回

今井 雄治さん 101回
安守 潔さん 109回

「紺青賞」受賞者(3名)
展帆ボランティア(50回以上)
石黒 桂子さん 55回
本保 澄雄さん 53回
甲板ボランティア(250時間以上)
清水 等さん 266時間

おめでとうございます！

掲載順序はボランティア番号順、参加回数・時間数は6月8日現在です。

総帆展帆

日時：平成20年8月 3日(日)
9月 7日(日)
9月21日(日)
午前10時～(受付は9時から)

場所：更衣・交流センター研修室
集合・海王丸第1教室

8月3日に、海王丸パークとその付近でトライアスロン大会が実施されます。東西漁港連絡道路(新湊漁港前の道路)の奈古の浦大橋～海王丸パーク間は通行止めになりますので、お越しの際はご注意ください。

新ボランティア紹介

6月までに次の方々が仲間に加わりました。どうぞよろしくをお願いします。

森本 奈津季さん(もりもと なつき)
杉江 実宝さん(すぎえ みほ)
荻野 愛未さん(おぎの まなみ)
和田 静さん(わだ しずか)
和田 恵さん(わだ めぐみ)
河越 有沙さん(かわごえ ありさ)
北 千明さん(きた ちあき)
高田 美涼さん(たかた みすず)
南 佳苗さん(みなみ かなえ)
樋詰 礼佳さん(ひづめ あやか)

イベント案内

巨大フリーマーケット

海王丸パークのシェルステージ周辺に一般から募集した約100区画(予定)のフリーマーケットを出店します。当日は海王丸の総帆展帆も実施されます。

日時：平成20年 9月21日(日)
10:00～15:30

フリーマーケットの出店には事前の参加申し込みが必要です。

お問い合わせは、こちらへ。
総務課 0766-82-5181



お知らせ

チーム・マイナス6%に参加しています

深刻な問題となっている地球温暖化。世界に約束した日本の温室効果ガス排出量の削減目標は、1990年に比べて6%削減すること。これを実現するための国民的プロジェクトが「チーム・マイナス6%」です。



これからも、この紙面やHPで情報を発信していきますので、皆様のご協力をお願いします。

エコキャップ運動にご協力を！



ペットボトルのキャップで
世界の子供に
ワクチンを届けよう

ペットボトルなどのキャップは400個で10円になります。ポリオワクチンは1

人分20円。20円で1人の子どもの命が救えるのです。あなたの行動が、世界の子どもと地球の未来を創ります。

7月のパークフェスティバルでは専用回収箱を設置します。ご家庭などで集めて、財団までお持ち下さい。もちろん、1個からでも結構です。目標5,000個!

お問い合わせは当財団海事課長まで。

新規ボランティア養成訓練

海王丸ボランティアになってみませんか?総帆展帆やセイル作製の他、楽しい活動や交流があります。

平成20年9月13・14日(土・日)

訓練参加には、お申し込みが必要です。お問い合わせは当財団海事課まで。

木甲板ピッチ流し工事

期 間：平成20年9月8日～19日

内 容：木甲板の継ぎ目から水がしみこむのを防ぐために、ピッチを流し込みます。

期間中、見学順路を変更することがあります。

みなとまち上陸紀行

今回は北海道を代表するみなとまち「小樽」編です。

小樽は約400年前、松前藩の知行地として開かれ、明治初期から昭和初期にかけて、貿易・物流の拠点として大きく発展しました。現在では北海道の海の玄関としての役割を担いつつ、北海道を代表する観光地としても有名なものは、皆さんご存じの通りです。航海訓練所の練習船も度々入港しており、小樽港開港100周年の時には二代目「日本丸」が入港しイベントに華を添えていました。

小樽は札幌市と隣接しており、小樽～札幌間は交通の便が良いので、ツアーで来られる方々は半日行程の観光がほとんどですが、是非一日じっくり時間をかけて観光されることをお勧めします。ではオススメ観光スポットをご紹介します。

最初は町並み散策などが良いでしょう。明治以降、海上交通の要所として発展したので日本銀行の小樽支店や日本郵船の小樽支社など、異国情緒を感じる歴史的建築物が沢山あります。また小樽は、昔からの港町にはお約束?の、坂の多い街でもあります。地獄坂という名前の坂もあります。

続いては、小樽運河周辺エリアです。ここは、お土産を買ったり食事したりするに

は文句なしでしょう。北一硝子や小樽オルゴール堂、かまぼこで有名なかま栄、ラーメンや北海道がブームの火付け役になったスープカレーまで楽しめる小樽運河食堂、少し離れれば寿司屋通りなど、見所満載です。

他には、石原裕次郎記念館、ショッピングモールのウイングベイ小樽、新鮮な海産物が手に入る新南樽市場などもあります。

さて、これだけ名所を回るとすっかり日も暮れているはず。最後は綺麗な夜景で一日を締めくくりましょう。前述のウイングベイ小樽にある観覧車はオススメです。もう一カ所は、天狗山ロープウェイで行ける展望台です。どちらの場所からも、絶景が楽しめます。

駆け足ではありましたが、小樽の魅力伝わったでしょうか?機会があれば、是非お立ち寄り下さい。(技術員 山本一徳)

投稿コーナー

Cutter 巡航

- 小さな帆船の航跡 - ⊕
海事課 榊原 祐一郎

私は学生時代、端艇部に所属していました。端艇とはCutterというボートのことで、海王丸ボランティアや海洋教室・Cutter教室に参加された方は漕いだことがあるかも知れません。

端艇部で使用していたCutterは全長9mの12人漕ぎで、財団で使用している6mCutterと比べると随分大きく感じます。また、船体は鎧張りといって細長い板をいくつも貼り合わせたようになっていて、財団のCutter(平張り)とは見た目にも違いがあります。

端艇部員は毎年5月に開催される全日本Cutter競技大会に向けて、日々鍛錬をしています。レースは2,000mを漕ぐタイムを競うもので、主催校によって発進(スタート)の方法や回頭(折り返し)の有無など異なります。Cutterを漕ぐことを通して、気力と体力とを養います。



權立ての礼を行うCutter(後は神戸を出港する海王丸、平成10年)

この大会が終わると4年生は引退します。新しい主将の下での最初の活動が巡航です。巡航とは、カッターにマストやセイルを取り付け、帆走して各地を巡ることをいいます。端艇部では、6月に水無月巡航、8月に夏巡航を行っていました。水無月巡航は、帆走技術の習熟と錨泊の練習、夏巡航への準備を兼ねた1泊2日の巡航です。私たちの頃は大阪府堺市の浜寺へ行っていましたが。夏巡航は7~10日かけて行う本格的なもので、主に瀬戸内海コースと淡路島一周コースがありました。

カッター巡航では、部員に役割を振ってそれぞれが任務を遂行します。
艇長：カッターの責任者
航海長：航海計画全般
通信長：僚艇との定時連絡
主計長・主計員：炊事と買い出し
運用長・運用員：艀装と備品・清水管理、停泊当直

主計は、与えられた財布と相談して港で食料を買い、航海中の煮炊きは危険が伴うので出艇前におにぎりなどを作っておきます。停泊中は、定番のカレーライス、焼きそば、焼きめし、そうめん、パスタなど腕によりを掛けて作ります。運用には色々な仕事がありますが、水汲みとワッチ（停泊当直）が大きな仕事になります。水汲みは、漁港や近所の民家をお願いして、18Lのポリタンク2、3個分をもらいました。ワッチは保安のため停泊中、昼夜を問わず2、3時間交替で行っていました。

次は準備の話です。水泳訓練を終えて真っ黒に日焼けした1年生が帰ってくると準備が始まります。まず艇体に付着したフジツボや汚れをスクレパーなどを使って落とします（底洗い）。私が入学したのは阪神・淡路大震災の直後で、学内のポンド（繋船池）全体が崩壊していてクレーンでカッターをつり上げることができなかったため、芦屋川の河口に乗り上げて艇体を傾けて底洗いしたこともありました。

出艇当日の早朝から主計は昼食の支度を、運用は艀装を行います。マストを立てヤードとセイルを取り付けます。艇首尾には航海灯を準備します。艇尾には便所も準備します。四角の鉄枠の両端に板を張ったもので、板のすき間の下は海ですので、“水洗トイレ”というわけです。鉄枠の四隅には支柱を立ててあり、周囲にスクリーンを張った艇上唯一の個室になっています。ボトム・ボードという床板を外し、清水を入れたポリタンク、ガスボンベやコンロなどの炊事用具といった重い物から積み込みます。他にも、ボートコンパスや海図などの航海用具、毛布や救命胴衣、食糧を積み込みます。両舷にはセILINGクラッチというY字形の金具を差し込み、オーニング（天幕）、ショアボード（道板）、予備オール

など長いものを積み込みます。積み込みが終わると最後にデッキボードを敷きます。シート（艇座）の高さと同じ位置に敷くので、艇内には前から後まで段差がなくなります。ぎらぎらと照りつける太陽が高くなった頃、顧問の先生や先輩に見送られ、いよいよ小さな帆船の航海が始まります。

（続きの①は次号に掲載の予定です）

危険予知トレーニングvol.27

110号vol.26の答え



通廊からエレベーターを使用し運搬中。

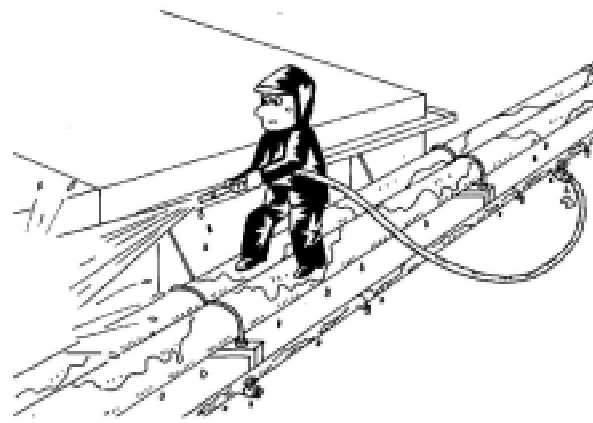
《状況》酒などをエレベーターを使用して運搬中。

1. エレベーターと床との小さな段差を通過するとき、瓶が落ちて割れる。

2. 急にドアが閉まり、荷物が崩れる。

3. 荷車だけが通過したとき、ドアが閉まり、人がドアに挟まれる。

次のイラストにはどんな危険がひそんでいるでしょうか？考えてみましょう。



航海中、甲板洗いをしている。

答えは次号で！
（船員災害防止協会刊：商船KYTイラストシート集から抜粋）

終わりに

5月に縄ヶ池みずばしょう群生地を、6月に称名滝を見に出掛けました。どちらも私が想像していた以上に見事な景色で、大満足でした。この素晴らしい富山の自然を残していくために、日々の生活でできることを考え実行しようと思いました。（さ）